

令和4年度の学校評価（年度末評価）

本年度の重点目標	<p>ア 感染症対策、食育、医療的ケア、防災防犯等、健康と安全に配慮した学校づくりを進める。</p> <p>イ 自立と社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を進める。</p> <p>ウ 主体的、継続的に研修に取り組み、専門性の向上と授業改善を図る。</p> <p>エ 地域の教育資源や外部の専門家と連携し、社会に開かれた教育課程を実施する。</p> <p>オ 全教職員の創意と工夫で多忙化を改善し、教育活動の充実を図る。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの楽しさを通して、興味・関心や人との関わりを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年先の具体的な目指す姿に向けた指導計画を立案し、実践する。 ・集団での活動や個別の活動を円滑に行える生活作りをする。 ・安全で健康的な学校生活を送るための指導や環境整備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係教職員で情報共有を行い、目指す姿に留意し、指導計画の立案及び実践に取り組んだ。 ・集団学習における個別課題への対応に、より一層の工夫が必要であることを認識した。 ・今後も個々の目指す姿に基づく指導目標の具体化と、その課題に迫る指導計画の作成及び実践に努めたい。
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に結びつく学力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善のアプローチを教職員間で共有し、生徒の「わかる」「できた」「もっと知りたい」につなげていけるように授業実践に努める。 ・学習意欲を喚起する個々への支援方法、授業の進め方、環境づくりなどを考えることで、よりよい授業実践に努める。 ・教職員間の連携を密にし、「主体的・対話的」で深い学びの実現に向け授業実践に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT支援機器を活用し、他校の生徒とも合同で行うなど生徒の実態に合わせた教材・教具の工夫や学習環境の整備を行った。教員同士の情報交換を行うことで、生徒の興味・関心を引き出し「わかった」「できた」「次の問題は何か？」など主体的に活動する授業実践が多く見られた。 ・来年度はOJTを活用し、それぞれの教職員がもっている情報や実践例を共有し、教職員のスキルアップに努める。
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の自立と社会参加を目指した授業実践に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のよさや可能性を引き出し、発展や定着を図る授業実践に取り組む。 ・成人としての自立や社会参加に向けた学習内容の整理をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から年次進行で始まった新学習指導要領を踏まえた観点別の指導と評価に取り組み、学習の発展や定着を図る授業に取り組めた。次年度もICTを活用した学習活動の充実を図り、生徒のよさや可能性を引き出す授業実践に取り組んでいきたい。 ・行事や産業現場等における実習での取組を踏まえた学習指導や消費者教育などに取り組むことができた。地域の資源を活用し、進路指導に生かすことが今後の課題である。
訪問教育	<ul style="list-style-type: none"> ・人や物と関わる力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の興味・関心、生活年齢や発達段階に応じ、充実した授業ができるようにする。 ・個に応じたいろいろな形での学習活動を進める。 ・児童生徒が心身ともに安定して授業に臨めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種々の素材を活用し、児童生徒の興味・関心を引き出すことができた。またオンラインによる学習活動により、友達や周りの人との関りをより多く持つことができた。関係者と連携を図り、体調や素材の使用に関しての共通理解が深まり、安定して授業に臨むことができた。 ・教材教具に関する情報共有を図り、個々の取組の情報を持ち寄ることで、「児童生徒の人や物と関わる力を育てる」ことが次年度の課題である。
総務	<ul style="list-style-type: none"> ・関係諸団体への作品の出品を通して教育活動を保護者や地域に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出品作品数を増やすために早い時期から校内に周知する。 ・校内掲示板の教育活動を伝える写真などを学校記録「さわらび」と連携して定期的に交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取組として地域の企業の展示スペースに、児童生徒の作品を展示した。保護者が鑑賞できるよう同じ地域の児童生徒の作品を募集して10点展示できた。後期は、参加希望者を募り展示を行った。展示時期を明確に決めていなかったため募集が直前になってしまった。反省を生かし次年度以降余裕をもって周知していきたい。
教務	<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成の効率化を図る。 ・新学習指導要領を踏まえた指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導要録について、全ての部でコンピュータを使用して作成する。 ・新学習指導要領を踏まえた学習活動及び評価の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小1から高1までの学年でコンピュータを使用して指導要録を作成できた。高等部は年次進行で進める。 ・教科会、領域会では、学習活動を学習指導要領解説各教科等編や自立活動編を基に学習内容や段階、位置づけの確認や整理を行った。評価の観点も明確になった。今後は、指導計画の振り返りや改善から、よりよい授業実践に取り組むたい。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の心の健康状態を把握する体制を整える。 ・安全にスクールバスが運行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の健康についてのアンケートを実施する。 ・関係者との連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の実施状況を確認して、実施に向けての準備を進めている途中である。来年度も実施に向けて業務を進める。 ・スクールバスの運行記録や保護者からの御意見をバス担当者で共有したり、来年度以降の運行に関わる情報を記録したりした。このようにすることで、よりよい対応案を考えられたり要望を叶えられたりした。今後も細やかな対応を継続していきたい。

研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修や全校研究を推進しながら研修・研究結果を全教職員に還元する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校研究の充実を図る。 ・中堅教諭資質向上研修の支援を行うとともに、成果を全教職員に還元する。 ・教材教具展を実施し、児童生徒への効果的なアプローチを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭資質向上研修のオンラインでの登録や受講の進め方などの説明を行い、受講の支援を行った。また、校内発表会で課題研究や異校種等研修などを発表し、成果を校内に還元することができた。 ・感染症対策を講じながら全校で教材教具展を実施し、児童生徒への効果的なアプローチを全校で共有することができた。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努める。 ・医療的ケアが必要な児童生徒が健康に安全な学校生活を送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況の変化に対応する。 ・安心、安全な医療的ケアを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止については、県のガイドラインをもとに、学校での資料を作成し、変更等があれば、校内ネットワークで教職員への周知を図った。今後も県のガイドラインに沿って、見直し等を行う。 ・医療的ケアについては、新しくなった手続きを一つずつ確認しながら、申請等を進めた。学校の要項や細則が来年度、改定をするので保護者や教職員に周知していく。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択、卒業後の生活に役立つ情報を児童生徒や保護者、教職員等と広く共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内ネットワークや掲示板を活用する。 ・本校の教職員向けに校内研修を行い、本校の進路指導や障害者を取り巻く社会情勢についての理解を啓発する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学とチャレンジ体験では、感染症対策をして実施することができた。実際に訪問し、現場を見たり話を聞いたりすることで進路先のことを考える機会となった。 ・小学部の懇談会で進路講話を行った。高等部卒業後の進路状況を知ってもらう機会になったことと、小学部段階の保護者が抱える課題や現況を知ることができた。 ・来年度は進路開拓を進める上で医療的ケアを必要とする生徒が利用できる福祉サービスやグループホームの開拓を積極的に進め、対象生徒が余裕をもって進路決定につながるようにする。
図 書 視 聴 覚	<ul style="list-style-type: none"> ・目的の本が探しやすい図書館づくりを進める。 ・業務を分担、精選する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表示やレイアウトを工夫してどこにどのような本があるか分かりやすくする。 ・業務内容を見直し、適切に分担する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本十進分類法で細かく本を分類し、本棚に約 300 枚の表示板をつけた。また、児童生徒の手の届く場所に、大型の図書館マップを掲示した。前年度より、年間貸出し冊数を 1671 冊、増やすことができた。 ・毎年 12 月に行っていた蔵書点検を、11 月から行うことで、今年度は、冬休みに図書の貸出しを行うことができた。 ・今後は、教科に関する図書を計画的に購入し、各教科の授業で利用できる図書館を目指す。
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器、情報システムを教職員が操作できるようにする。 ・情報教育部における業務の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器、情報システムを教職員が操作しやすいようにマニュアル化する。 ・情報教育部主任、ネットワーク担当者を中心に、組織的に業務を行えるように進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有アプリや学習アプリ等をマニュアル化することで、自分で操作できる教職員が前年に比べて増えた。 ・昨年度の業務の資料を参考に、業務を分担しながら教職員間での情報の共有を図っているが、専門性の高い業務が多いため、業務が遂行できるようになるまでに時間を要することが課題である。
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援や自立活動の指導ができるよう、情報の共有に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの分掌と連携を取りながら、児童生徒、教職員が相談、利用しやすい環境を整える。 ・校内研修や外部の専門家を招いての相談活動の実施やフォローを行い、広く校内に伝達する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況をみながら、職員研修や自立活動相談等を行った。研修・相談内容は校内グループウェアにて全職員で共有した。写真や動画を添付し、文章を絞って作成することで、分かりやすい情報発信を心がけた。今年度、新型コロナウイルス感染拡大から中止となった研修もあったため、来年度は教職員、児童生徒のニーズに応じた研修を増やしていきたい。また、研修後の情報発信やアフターフォローの充実化も図りたい。
教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校や校内への支援を継続的に行い、教育支援機能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校に本校の教育相談や研修会の案内をする。 ・校内外に、支援具や支援方法等を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子を知りたいという地域の教職員の要望を受け、研修会等で使用する学校紹介ビデオを、本校の現状に合うものに更新した。写真の変更等の更新がしやすいようにパワーポイントで作成した。 ・教育支援部が管理している支援具や書籍の認知度や利用頻度が低かったので職員室で展示、紹介をした。今後も継続し、より魅力的なプレゼンができるようにしたい。
総 合 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も新型コロナウイルス感染症の流行は収まらず、第7波及び第8波を迎えた。しかしながら、保護者の協力のもと基本的な感染対策を継続することで、クラスターの発生を抑え、臨時休業や分散登校を実施することなく教育活動を展開することができた。 ・夏季休業中を中心に新学習指導要領やICTの活用などについての研修を行い、授業改善につなげることができた。 ・教職員の多忙化解消に向け、部や分掌ごとに業務のやり方を見直したりコンピュータを活用して合理化を図ったりしているが、まだまだ十分ではない。引き続き取り組んでいく必要がある。 		